



# 広報えひな

編集・発行  
海老名市役所広報広聴課  
〒243-04  
神奈川県海老名市勝瀬175  
☎ (0462) 31-2111

いろいろな道具に白を知らない子供たちも興味津々



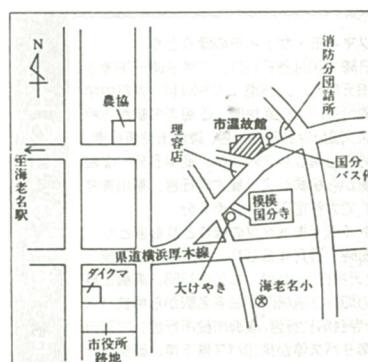
温故館特別展

## 「臼作りの道具」

10月23日～11月18日

市温故館では、10月23日から「臼作りの道具」をテーマに特別展を開催します。今回は、明治時代から親子2代で臼を作り続け、「赤坂の臼屋」の愛称で親しまれていた臼職人、笠間謙さんが作った臼と臼作りの道具約70点を展示します。機械化された現代と違って、自分の技術と経験だけを頼りに働き、仕事に誇りを持って生きてきた昔かたぎの職人の世界を、この特別展で垣間見てください。

# 伝えたい匠の世界



臼に誇りを持ち続けた父  
上今泉2丁目(49歳)  
北村 明一さん



「今から考えると、父は典型的な職人だつたようです。家庭のことは母にまかせ、仕事のないときは家でぶらぶらしていましたが、注文がくると、原木のケヤキを捜しに厚木や大和まで歩き回り、作業にかかると文字通り朝から晩まで臼作りに熱中していました。」

「臼は一代一個。ともいい、暮れ以外は注文も少なくて生活は楽ではありませんでしたが、転職は考えていませんでした。」一代一箇。だからこそ自分に納得のいく臼を作ることを第一とし、口には出しませんでしたが完成した臼に誇りを持っていたようですね」

以来、人々の暮らしの中で重要な役割を担ってきた臼も、近年の生活様式の変化から需要が減り、現在、県内に在住している臼職人は四、五人だけだそうです。

笠間謙さんも、そうした数少ない臼職人の一人でした。笠間謙さんは大正三年、柏ヶ谷の臼屋の四男として生まれ、小さいころから父親の仕事を見ながら臼

を大別すると、穀類などをすりつぶす「搗臼」(挽き臼ともいって碎く搗臼)がありますが、私たちになじみ深いい搗き臼は弥生時代に使われ始め江戸時代中期以降に普及しました。

笠間さんは、臼作りに電動工具を一切使わず、作った臼が全

て持ち続け、晩年も「謙の文字を染めぬいたトレードマークのほん天を着て、店先で木を刻む笠間さんの姿が見かけられたそうです。

**道具類70点を展示**

今回の特別展には、笠間さんが使っていた臼作りの道具約七十点と、笠間さんが作った臼、臼玉(臼の原木)などが展示されます。これらの道具類は、笠間さんの長男北村明一さんが今年八月、赤坂の臼屋が取り壊された際、市温故館に寄贈したもので、展示品の中には原本の伐採か

ら臼の仕上げまでの道具一式が揃えられており、柄が極端に短い手斧や、腰の力を利用して木を削る腰力など、他ではあまりみることのできない道具もあります。

また、臼の製作過程を写真で紹介するなど、臼作りの歴史からのお話などを石器時代からの道具時代から午後五時までです。入場自由。

特別展の開催期間は、十月二十三日から十一月十八日(月曜日と祝日、十一月十三日は休館)

まで、開催時間は午前九時から午後五時までです。入場自由。

同展についての問い合わせは市温故館(国分一九三四番地、33-4

0-28)か社会教育課(内55)



## 技術と経験がなせる技

今に伝わる臼作りの伝統

臼作りは、次のような工程で行われます。  
①割れ目ができるのを防ぐため、木を切ってから、三年たった臼玉(臼の原木)に竹尺とギリを使って円を書き、臼の大さきを決めます。(写真①)

②臼の外周部をマサカリなどで荒削りして、臼の座りをよくするため底部分を削ります。

③割れ目防止のため、円にそ

ってノミを入れて、クチキリを使つて円の内側

を削ります。

④さらに手才

ノを使って削つた内側の凹凸をなべ、曲線をつけます。(写真②)

⑤臼の外周部をマサカリなどで荒削りして、臼の座りをよくするため底部分を削ります。

⑥外側の脇部分にノゴギリと

ノミで手掛け、持ち運ぶときのための凹みを刻み、最後に力

ノナを使って仕上げます。

なされた道具を通して、年配者には、古き良き海老名の技を、また、若者にはかつて「匠」の技を駆使していた職人像を思い起すことができるこの特別展にご家族そろってご来場ください。

入場は自由です

長年使いこ

ます。



家庭的な雰囲気のなかで

## 個性的な作品を製作

サーキュル・ボンネット  
二十余年に亘る、来年の度小学校へ入学する児童の健康診断を別表の日程で行います。この健康診断は、入学するお子さんが、元気に通学できるよう実施するものです。注意事項を守つて必ず受診してください。

健康診断のお知らせ(はがき)は、月中旬に発送します。  
【注意事項】①受診は、学を脱ぎやすい服装で、歯を清潔に。②お子さんは、はがきの裏面は必ず記入してください。③必ず受け時間内に来場ください。※お問い合わせは、学校教育課(内線)へ。

## 就学時健康診断を忘れずに

お子さんが元気で通学できるよう

## 各小学校で実施

月 日	学 校 名	受付時間
11月1日(木)	柏ヶ谷小学校	13:30~14:00
"	中新田小学校	13:00~13:30
11月5日(月)	上星小学校	13:30~13:50
11月7日(水)	有馬小学校	13:15~13:30
"	杉久保小学校	13:00~13:30
11月8日(木)	門沢橋小学校	13:00~13:20
"	今泉小学校	13:00~13:30
11月14日(木)	海老名小学校	13:10~13:30
11月15日(金)	東柏ヶ谷小学校	13:30~13:45
"	杉本小学校	13:00~13:20
11月16日(金)	大谷小学校	13:50~14:10
11月20日(火)	社家小学校	13:00~13:30
11月22日(木)	有鹿小学校	13:00~13:15

※やむを得ず、受診指定校で受診できない場合は、他校でも受け取ることができますので、学校教育課へご連絡ください。

## 25年以上必要です

## 国民年金の受給資格期間

二十歳以上六十歳未満のすべての国民は、国民年金に加入する必要がありますが、老後に老齢基礎年金を受け取るには、保険料を納めた期間が原則として二十五年以上必要になります。

老齢基礎年金を受けるために必要な期間とは、以下の期間を合計して「二十五年以上」というものであります。

①国民年金の保険料を納めた期間  
②国民年金の保険料の免除を受けた期間  
③任意加入する人が加入しなかつた期間など(カラ期間)  
④厚生年金や共済組合の加入期間  
※なお、国民年金に加入していくと保険料を納めなければ(はがき)の裏面は必ず記入する必要があります。

## 柏野くんと中村さんが最優秀

## 非行防止ボスター入賞者決まる

夏休みに市内の小学五年生と中学生から募集した「非行防止ボスター」の入賞作品は、十月二十日に開催された応募総数六点の計百七十五点で、中学生八十点、小学生八十五点で、非行防止ボスター入賞者賞が決まりました。応募総数は小学生百七十五点で、中学生八十点、小学生八十五点で、非行防止ボスター入賞者(敬称略)【小学生の部】▽最優秀賞 柏野巧くん(鹿島小6年)▽優秀賞 青山直樹(今泉小6年)▽松澤美和(杉本小5年)▽入選 君山義則(東柏ヶ谷小5年)▽小林真理子(同)、森川恵理(同)、吉沢景子(西瀬谷小6年)▽千田

成進大会で表彰、展示される月三日、四日間開かれる市民文化祭で展示(4面参加)されま

す。また、市では(は)の最優秀賞作品で非行防止ボスターを作り、青少年の健全育成のために公共施設などで掲示します。

②サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり  
③サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

④サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑤サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑥サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑦サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑧サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑨サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑩サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑪サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑫サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑬サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑭サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑮サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑯サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑰サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑱サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑲サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

⑳サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

㉑サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

㉒サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

㉓サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

㉔サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

㉕サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

㉖サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

㉗サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

㉘サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

㉙サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

㉚サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

㉛サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

㉜サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

㉝サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

㉞サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり

㉟サツマイモ・キャベツのほりとりもぎとり





